

第5回水と光のまちづくり推進会議
平成 27 年 7 月 7 日

水都大阪パートナーズ 平成26年度事業評価結果

1. 評価方法

- 「水と光のまちづくり推進会議」で策定した「水と光のまちづくり基本方針」に基づき、
- ① 世界各国から注目される『水と光のシンボル空間』の創出
 - ② 国内外から観光客が訪れる『水と光のテーマパーク』の実現
- を水都大阪パートナーズのミッションに掲げ、各ミッションについて、4年間の「取組項目」と「達成目標」を設定。
- 平成26年度の水都大阪パートナーズの結果をもとに、4年間の目標達成に向け着実に進んでいるか、事業評価委員会にて、進捗状況を評価した。

2. 評価結果

(1) 評価点数

ミッション	26年度 評価結果	(参考) 25年度
①世界各国から注目される「水と光のシンボル空間」の創出	61	71
②国内外から観光客が訪れる「水と光のテーマパーク」の実現	69	73

(2) 最終評価 概ね予定通り進んでいる。(事業継続)

※評価の目安

101点以上：当初の予定を超えて進んでいる。(事業継続)

61～100点：概ね予定通り進んでいる。(事業継続)

60点以下：予定通り進んでいない。方向性や手法を見直すべき。
(再公募も含め検討)

(3) 総 評

- 評価点数は 60 点台となり、「概ね予定通り進んでいる」との最終評価であるが、十分な水準とはいえない。
- 中之島公園の長期活用や中之島 **GATE** への民間企業誘致などは、水都大阪パートナーズならではの取り組みとして、着実に成果をあげている。
- 一方で、これら取り組みを、ミッション①「世界各国から注目されるシンボル空間の創出」に向け、どのように発展させていくのか、エリアマネジメントの具体的な戦略を示し、進めていくべきである。
- また大阪を訪れるインバウンド観光客が急増するなか、彼らに水都魅力を十分伝えるべく、大阪観光局等の外部機関と連携し、より効果的かつ具体的にプロモーションしていくべき。
- 4年間のパートナーズ体制の折り返し点となる27年度は、「水の回廊」の各拠点で広がりつつある河川活用の動きをつなぐコーディネーター役として、さらなる民主導の取り組みを期待したい。

※事業評価委員会の概要

①事業評価委員

【委員長】

大阪府市都市魅力戦略推進会議 会長

橋 爪 紳 也

【委 員】

株式会社日本政策投資銀行 関西支店 業務部長

坂 卷 淳 一

株式会社パブリックパートナーズ 代表取締役

池 末 浩 規

大阪府府民文化部都市魅力創造局長

岡 本 圭 司

大阪市経済戦略局理事

堤 道 明

大阪商工会議所 地域振興部長

堤 成 光

公益社団法人 関西経済連合会 産業部長

野 島 学

一般社団法人 関西経済同友会 企画調査部 調査役

松 尾 康 弘

(以上 8 人)

②開催状況

- ・第4回（平成 26 年 5 月 13 日）

「25 年度取組結果、26 年度取組方針について」「25 年度最終評価について」「25 年度評価結果報告、並びに 26 年度取組項目・達成目標について」

- ・第5回（平成 26 年 10 月 30 日）

「26 年度取組状況について」

- ・第6回（平成 27 年 5 月 20 日）

「委員長の選任について」「26 年度取組結果、27 年度取組方針について」「26 年度最終評価について」「26 年度評価結果報告、並びに 27 年度取組項目・達成目標について」

以 上